

第9回富山地区学校再編検討委員会次第

日時 平成21年11月25日 午後7時

場所 富山公民館 講義室

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告

4. 議事

(1) 第1回地区説明会意見の検討について

(2) 第2回地区説明会開催日程について

(3) 個別的事項の検討について

(4) 第10回検討委員会会議日程について

5. 閉会

第9回富山地区学校再編検討委員会 会議録

平成21年11月25日（水）午後7時

富山公民館 2階講義室

記録者 小磯 英明、満平 恒一

欠席委員 奥澤委員、福島委員

和田委員

1 開会

2 挨拶

委員長 今回は、先日の平群・岩井両地区説明会の結果や意見等について審議し、次回の地区説明会への段取りをする。平群地区説明会では、保護者がほとんど出ず年配の方がほとんどで、平群の学校がなくなるということで様々な意見が出て、理解を得るところまでいかなかった。一方、岩井地区説明会では校舎整備等の問題だけだった。平群地区で出た問題を中心に話し合いながら、次回の地区説明会で、地区の皆様の理解を得られるよう進めていきたい。よろしくご審議をお願いします。

教育長 第9回学校再編検討委員会、本当にご苦労様です。今説明があったように、ようやく地区説明会の段階に来た。そこで出た意見を持ち帰り、再度検討していくということになる。他地区のことではあるが、白浜は説明会を経てほぼ決着を見た。白浜小へということが固まり、閉校委員会を立ち上げるという方向へきている。富浦の方もこちらとほぼ同様に進んでいる。八束方面の理解を得ながら進んでいく予定だ。3地区は同時にやっている。

大変でしょうがよろしくお願いします。

平群小の活躍 南総文化ホールが、県民参加の創作ミュージカル「海ホテルの魔法」の原案募集をしたところ、平群小の児童が応募して最優秀賞をとった。26の応募作品の中で5点が入賞をした。その中の最優秀賞は平群小2年の児童が書いたシナリオであった。また、新型インフルエンザは、先週下火になったと思っていたが、今週になって増えてきた。外房地区に広がっている。そして、学級閉鎖は、健田6年2組。丸幼稚園年長。丸山中1・2年1クラスずつ。丸小の2・3・4・6年。富浦・三芳・富山は出ていないが、気をつけなければいけない。

3 報告

事務局 前回第8回検討委員会の報告を申し上げる。地区説明会での報告内容の確認とそれぞれの役割分担を検討した。地区説明会の報告内容は第8回の会議録に記載したが、統合の時期、統合する学校の位置、学校の名称について、地区説明会で地域の方々に説明し、原案を示し意見をいただくということが検討された。PTA役員には大きな会場ではマイク係や受付を願う等地区説明会に向けての打ち合わせ事項を協議し確認した。

事務局 本日の欠席連絡は、検討委員が3名、オブザーバー2名が所用のため欠席という連絡があった。それでは設置要項の定めにより委員長に議長をお願いします。なお、本日の傍聴の申し出はなかったことを報告する。

4 議事

委員長 事務局から説明があったように3名の委員が欠席だが、過半数に達しているので会議は成立します。議事を始める。

議案第1号「第1回地区説明会意見の検討について」事務局より説明を求める。

事務局 No.1の資料をご覧いただきたい。1頁が富山コミュニティセンターで開催された内容。2頁が岩井公民館で開催された内容。1頁の内容から説明する。

1 1月9日、富山コミュニティセンターを会場に地区説明会を開催した。参加者は24名。地域の方々方が中心で、保護者の方よりも地域の方に多くの参加をいただく説明会だった。主なものを要旨として9項目まとめた。それらについて1点ずつ説明したい。（以下資料の通り）

1 1月12日、公民館を会場に地区説明会を開催した。出た質問は統合の時期、学校の位置、名称については特に質問がなかった。主な質問として5項目を挙げた。（以下資料の通り）

以上が両会場で行なわれた地区説明会の概要。詳細は先日配布した両説明会の内容と合わせて参照して協議いただきたい。検討委員全員に出席して欲しいという意見もあったので、それらが課題となっている。また、平群地区については、統合に関する基本的事柄を数多く質問されたので、それらを協議して、次回説明会に向けて検討していただきたい。

委員長 事務局から先日の地区説明会で出た意見等を説明していただいた。岩井・平群の地区別開催ということで、委員さん方にも地区別に出ていただいたが、平群地区から、両地区に分かれてやるにせよ、役員には全員出てもらったらどうかという意見が出た。次回は出てもらったらいいと考えているがよろしいか。

委員 岩井と平群を分けてやるのではなくて、1箇所で一緒にやった方がお互いに意見が出てよいのではないか。

委員長 次回の説明会の会場は1箇所にしたらどうか、という意見だがよろしいか。
前回の説明会は、いろいろと意見が出ているが、前回は両方とも30人足らずの出席だった。特に平群地区では保護者の方がほとんどいないくらいだった。年配の方が多かったが、今回は保護者の方にも出ていただき、意見を言ってもらった方が、地区の皆様にもご理解いただけると思うので、1会場で開催する。

委員 前回も参加してくれということで声かけはしてある。第2回説明会が予定されていることであれば、声を大きくして皆さんに参加してくれと話をする。

委員長 多数出ただければと思う。他にご意見をいただきたい。

委員 この会議自体が公開されているにも関わらず、議事録等の開示が今までなされていない。去年12月の段階で教育委員会からの議事録が配布された際に、委員の皆様への注意書きが書かれていて、公開されるに当たっては慎重な対応と推進を図ってまいりますとあった。議事録をPTAの皆さんに見せていいかわからない説明だった。皆さんも知りたい内容であり、会議が公開されていることを踏まえれば、議事録は開示してもよいのではないか。

事務局 会議が公開であるので議事録についても公開していきたいと思う。

委員 去年12月にも同様の回答をいただいているので、是非お願いしたい。
平群地区説明会の時に出た「保護者の意見はどういう状況なのか」の質問の回答で、PTAのアンケート結果について話した。有効回答数が50%強だと話したら、その後に自宅まで来て、なぜ回答率がそんなに低いのか、全体としてみんなで考えた結果ではないのではないかと話してくれた人がいた。同じように岩井小の方にも「過半数である」と書かれているが、回答数の説明がなされているのか。

事務局 岩井地区の説明会では、アンケートの詳細な内容については説明しなかった。概ね過半数という回答のみだった。

委員 では、回答数が半数であって、そのうちの過半数だったというような説明にはなっていないですね。岩井の方は、全体の過半数だったという理解でいると考えてよいか。

事務局 あくまでも有効回答数の中での回答しかしておりません。

委員長 他には如何か。平群地区の意見の中で統一しておかなければならないことはないか。先ほど申し上げたが、前回の平群地区は年配の方が多く、保護者の方がほとんどいなくて、賛成の意見が少なかった。検討委員会としては再編をすることで進んできて、岩井小を使うということになったが、地区説明会の中で保護者の意見が重要だと思う。地区説明会に保護者に出ていただき、子ども達が少ない人数で複式学級の学校になっていくより、大勢の中でよりよい学習ができる環境で、という保護者の賛同というか、平群地区住民の賛同を得

るには、そういう意見が大切ではないかと考えるが如何か。

委員 今の意見は、要はまとめて来いというのか。

委員長 まとめて来いというよりも、説明事項は、そうしようという検討委員会の方針だから、なるべくなら地区民の賛同を得て進めていかなければいけないので、十分説明し保護者の意見を説明する必要があると思う。

委員 地区の方への賛同を得るための努力をPTAがするということか。

委員長 PTAがするというのではなくて、地域に、保護者の意見の周知を図ってほしいということだ。

委員 第1回に来られた方の中で、賛成された方は私の記憶する限りいなかったような気がした。みんなが反対の意見で、出ている私たちに対して、「お前ら平群なのに何をやっている。」くらいのお話をされていた。その方たちへ、説明を私たちがするのは荷が重い。

委員長 いやそれは私たちや市がするけれど、保護者の意見として、子ども達のために統合してほしいという意見もあるはずだ。そこはやはり保護者の意見が一番大切だと思う。

委員 それに対して回答数が少ないという意見があった。確かに少ない。半数くらいの方しかアンケートに答えていないというのはその通り。そこを問題視されるとそうですねという感じ。実際にそういう数字でしかあがってこなかった。みんなの意見と言っていいのかと言われると難しい。

委員 私も平群地区説明会で話を聞いていたが、地域のために統合は致し方ないという方はいなかった。これは地域のためにはマイナスだなという考えの人がかなりいたということは事実だったと思う。地域を思う、全体を考えるという中では、一人ひとりの意見はごもつとも、間違った意見は一つもなかった。みんな素晴らしい意見だった。中学の統合の時も確かそうだったのだろうけれど、今になってみればその時が一番肝心な時なので、確かに平群地域としては、学校が岩井地区の方に来ればさみしくなるし、伝統・文化と守られ培ってきたものが一杯あるから、これはマイナス面だ。だからそれを心配するという方が、学力が下がることはないじゃないかという意見だった。

確かに5・6人に先生が教えてくれれば学力が下がることはない。しかし学力だけの問題ではなくて、全体集団生活の中でやっていく、今の子ども達にとって今後一番よい方法は何かという、そのことについての意見は説明会の質問の中では、あまり出なかったような気がする。だから地域のためには一緒にならなくてもいいのではないかという意見は確かにあった。それが間違っているとは言わない。確かにそれも一つの正しい意見だが、もう少し違った視野というか、三十数年前も中学が統合している。その時にもいろいろあっただろうが、

今になれば中学も部活存続がぎりぎりという時代に来ている。だからこれまで、学校の小規模化や老朽化問題を解決してほしいという、富山地区の総意としてお願いをしている。その中で両方とも校舎は古いわけで、双方残したら両方とも建てられるのかとか、いろいろなことを考えていけば、もう少し全体的に、本当に子ども達にとってどういうことがいいのかという、その説明を加えていったら、ある程度理解が得られるのではないかと考える。

委員長　なかなか難しい問題だと思うが、1回で皆さんの賛同が得られなければ、得られるまで説明会をしたいと思う。何か他にご意見があったら。

委員　岩井地区説明会に出た時の感想だが、合意事項が3点しか決まっていないので、皆いろいろなことを聞きたいのだが、それしか決まっていないので聞けない。具体的な要件ができていれば、向こうも聞いてこちらでも上手く答えられる。何人かから、もう決まっているのだろうという話が出て収まってしまった。

委員長　岩井の方では特になかったが、地区住民の合意ができない上で、先々まで検討して決めてしまうということは、慎重に考えなければいけないと思う。平群の方の方は初めてで、もうそれだけ決めてしまったのかという人もいる。様々な人がいる。

委員　私も岩井の委員ということで、コミセンの会議に参加していない。直に生の声や雰囲気を受け止めるようにすべきだった。反対意見がたくさん出た場に検討委員の一人としていなかったのも、今度はみんなで一堂に会してやるのがよいと思う。

何回も会議を重ねた中で、位置や名称を決めたが、それは最後の方だけで、それまでずっといろいろ検討して来た。最終的な決め手は子どもが少ないという現実の中で、一緒になった方がよりよい教育環境を与えられるのではないかという点が一番大きかった。それについては検討委員会で意見統一があったと解釈している。

それを決めるまでの話し合いの中で、皆さんのいろいろな意見が出ていたので、話し合っている私たちは納得しているが、平群の一般の方たちからしたら、委員の言ったように、最終的にこういう方向に行ったという道筋が見えないと、学校存続の大事なことなので、納得がいかないことがあるのではないかと思う。だから情報の開示の話もされたが、その辺りをもう少し綿密に、特に平群地区の方に必要だったのかなと感じている。最終的にどこにするかというのは、収容能力等を考慮して決めたので、別に平群を最初からやめようということでは話をつもりはないし、平群小も見せていただいて素晴らしい環境だということも確認している。

子供たちのことを考え、複式学級とかを避け、少しでも多い人数の中で、今

必要とされるコミュニケーション能力や、色々な個性を知るような大事な経験をさせるために、再編もやむを得ないということになったと思う。皆さんの意見調整の中でそれがキーポイントになっていたのも、そこを理解していただくような場を持たないといけないのではないかと思う。先ほどもそうだが、保護者委員の方たちに意見集約してくれとかではなくて、その場で私達が今までの経緯をもう少し話して、検討委員や保護者の思いを理解してもらう部分を設けなければいけないのかなと考える。

委員長 いろいろ意見を伺ったが、去年の11月から1年かけてようやく、場所とか基本的なことを決めてきたわけだが、地区に説明したのは第1回なので、2回目でも合意が得られなければ、3回目と、何回か説明会を開いて、皆さんからも意見を言っていただき、合意が得られるまで進めていきたいと考えている。

オブザーバー 話を聞いていると検討委員に頼りすぎている。学校再編の方針を強く打ち出して、再編室がリーダーシップをとって、委員が活動しやすいような環境にすべきだと思う。もっと住民に浸透させることが必要だと思う。声が聞こえてこないし、住民説明会をやったとしても参加者が少ない。少なくとも周りの住民の声が聞こえてくれば、地域がどう考えているかがわかる。もっと学校再編に教育委員会が持っている方針を前面に押し出さないと。PTAはやりたいと言っているわけではない。どちらかといえば、教育委員会の方で再編を打ち出してきたのだから、もっと積極的に働きかけなければ、前に進まないのではないか。そうしなければ参加者は少ないし理解も得られず、何回説明会をやっても足踏み状態が続く。岩井小の人たちにしてみれば、平群小学校の子ども達が岩井に来るのだから、受け入れ体制をきちんと作らなければいけないと思う。学校は岩井小学校だけれど平群の子どもたちPTAの人たちがくるのだから、受け入れる体制が必要だし、今後の説明会でも、ともにやっという意識が必要ではないか。保護者も地域も当然そうだ。中学の場合は、平群校舎・岩井校舎でスタートして、新しい中学ができた時に一つの校舎へ入った。段階を追ってやったが、今回は一気に行くのだから、保護者のお互いの理解と、ともにやろうという心構えが必要ではないか。お互いに言いたいことを言っていると、なかなか一つになれないというところがある。再編室はもっと積極的に働きかけること、PTAはもう少し一緒にやっという意識を持たないと難しい。検討委員にお任せというのはよくないのではないかと思う。もっと積極的にお願いしたいと思う。

事務局 再編については市が計画を作っているのだから、委員の皆さんには計画を十分理解いただきながら検討してもらい推進を図っていると理解している。委員の話にあったが、それぞれの項目に至るまでの経緯・経過についても、次回の説明

会には事務局として細部にわたってもう少し説明を付けながら、地域の皆さんに理解いただけるようにしていきたい。

ある程度事務局が準備しているが、委員の方々には地域の情勢・状況を考慮いただき、方針案を今まで検討していただいた。その基本的なものがないと、市の方での全て原案やたたき台を作って示すことになるので、そうではないということを皆さんにもご理解いただきながら、地域全体にも合意形成を図っていくという中で進んでいきたいと思う。

2回目については、先ほどからいろいろとご意見をいただき、1回目の説明会で出た意見や対応について、再編室としての説明の仕方など不備な点が多々あったものと思っている。2回目の地区説明会を進めるうえで、前回の説明会で地域意見として出たものを検討し、次回の説明会についてどうしていくかという意見をいただきたい。地区説明会等を行い、再編に向けた合意形成を今後していくわけだが、保護者の皆さんにも、やむをえない選択かもしれないが、やはり子ども達の学習環境をどうしていったらいいかということを経験の皆さんにご理解いただくために説明をしていきたいと思うので、もう少しこういう点を事務局として説明した方がよいという意見があったら聞かせていただければ、今までの検討内容等も整理しながら説明会に向けていきたいと考える。

委員長 いろいろとご意見を伺ったが、他に何かありますか。特になければ、第1回の説明会で出た内容は事務局で整理しながら、また次回の説明会では皆さん方から意見を出していただきたいと考える。それでは第2号議案「第2回地区説明会開催日程について」を議題とします。

事務局より説明を求めます。

事務局 次回の地区説明会の予定として、12月17日（木）午後7時から、開催会場は富山コミュニティセンターを提案する。また、第1回地区説明会で出た意見をもとに、委員さんには全員の出席をお願いし、会場についても岩井地区・平群地区を分けるのではなく、富山コミセンを富山地区1会場の開催という位置づけの中で考えていただきたい。

内容としては、市側の再編に関わる方針、デメリットの解消、統合に関わるメリットの説明、今までの協議の中身の説明を地域の方々に話して合意形成を図りたいと考える。

委員 出欠席を聞くのか、それとも設定した内容がどうかということか。

事務局 今日欠席の委員も3名いるので、できる限り全委員に出席いただきたい。

委員長 次回の説明会を12月17日、富山コミュニティセンターとする。後ほど正式な連絡はあります。次に第3号議案「個別的事項の検討について」を議題とします。事務局。

事務局 資料No.2に基づいて提案する。今後の検討事項の頭出しということでご理解いただきたい。再編に当たっての検討事項は基本的な事柄3点の他に細かな事柄が多くある。これらについては、地域合意が取れたら即座に検討に入らなければならないので、項目をご承知いただくため資料として用意した。

専門部会構成(案)については、富浦・白浜地区でも同様の専門部会を作り、それぞれの方々に専門部会を構成し協議していただいている。統合に当たって必要な事柄として、通学支援、校歌・校章、学用品、各種行事・交流、PTAの組織統合と、統合に当たっての検討事項はいくつかある。これらを全て検討委員会で一括協議ということは非常に困難なため、それぞれの地区で専門部会の設置をしている。富山地区でも地区合意を受けた中で、これらの協議を進めていくことが必要となるので、本日提案させていただいた。

構成については、検討委員以外にもPTAや学校職員等に参加してもらい専門部会の構成をしてもらっている。富山地区も同様の構成を提案する。本日は、これらについては、あくまでも項目出しということで委員の皆さんにご承知おきいただき、時期が来たらすぐに設置できるような準備をこれから進めていく必要があると考えている。委員の皆様にはご承知おきいただき、それぞれの組織内部で事前の検討ができるようであれば、検討をお願いしたいと考えている。

委員 合意が取れたら検討に入ることになると思うが、各委員会の構成はわかった。他地区におけるそれぞれ部会の大体の人数がわかれば、事前にPTA役員なり会員なりで検討することができると思う。両校の保護者の数が違うので人数は同数でなくてもよいと考えるが。

事務局 白浜地区ではそれぞれの部会に保護者から3名程度、校歌・校章については2名程度、両校からほぼ同数。それぞれの部会の構成が概ね10名程度で原案作りをしていただいている。その中には、PTAの他にも学校や幼稚園の先生も入った構成で、ほぼ両校から同数くらい。先生を合わせて5・6名ずつの構成で組織されている。富浦地区については、通学支援のところで若干人数が多くなっているところもあるが、総体的には一つの部会が10名前後くらいで組織されている。

委員長 他に意見はあるか。特にないようなのでよろしくお願ひしたい。続いて、第4号議案「第10回検討委員会会議日程について」をお願いします。

事務局 第10回の検討委員会の日程だが、12月17日が地区説明会なので、それを受けてからの開催ということで、年内の開催は日程的に大変厳しいと考えているので、1月中・下旬を目処に、事務局で日程調整し改めて周知したい。

委員 戻ってしまうが、先ほどの専門部会の件だが、学用品部会については、両小学校で新生に別のものを買わせてしまうことが起こった時に、長期的に使う

ものもあるので、結論が出てからでは、手遅れになってしまう。それならば、先に両小学校で相談して動いていかなくていいのかなという気がする。後になって、別のものを買って平群が少ないから平群が買ってねというのでは、大変な負担になってしまう。

副委員長 並行して進んでいかないと、これが終わってからこうじゃ、どんどん遅れてしまう。並行して行って、やった方がいいと思う。

事務局 ただ今、専門部会の中で調整する件ですが、方針案が出され、それをもとに今説明会等を実施しているところである。地域合意がない中で、例えば保護者の方々に対して専門部会が一人歩きしてしまうようなイメージで大丈夫かという懸念がある。基本の方針案の合意を得ながら、少しずつ準備体制を整えるものと考えているので、今回提案をしたところだ。

専門部会については、統合に関わる重要なものである。富山地区再編検討委員会としても、昨年の会議当初からスクールバス運行については是非必要だと意見をいただいている。統合に向けて子ども達がどういう形で通学していったらよいか、同じ課題や心配がある。それらについて、委員の皆さんの意見を伺いながら、次回の検討委員会から、専門部会のおおよその組織構成作りと、今後のスケジュール調整等を見据え、構成メンバーや人数等を示していけると思う。

統合に向けての学用品等については、入学時から必要になるものであるし、当然、今までと違った様式等になっているものがいろいろあると思う。それらの調整ということで地域説明会と同時進行のような形になるが、皆さんの理解が得られれば、主に保護者の方々を中心に考えていく形になると思うが、次回の検討委員会の中に構成を持っていきたいと思うが如何か。

委員 提案があったのは、学用品等のことについて先に進めたら如何でしょうかという意見だったと思う。今の説明だと合意が取ればということだが、学用品等については、岩井小と平群小が統合しなくても、同じ学用品を使うことに関して全く問題はないと思う。それについて保護者は、学校の先生が示したものは最良のものだと思って使っている。であれば、早く進められるのではないかという意見だと、私は理解していたがどうなのか。

事務局 それは学校の方でお互いに進めていただいてよろしいと思う。よろしく願います。

他の専門部会については、先ほど説明した内容での合意に基づきながら進めていくという方向でよろしいか。

委員長 よろしいか。

委員 異議なし。

委員長　では、次回の検討委員会は、中旬か下旬ということで、細かい日程が決まればお知らせするというところでよいか。

委員　17日にやって年を越したらその時のみんなの意見がまた消えてしまう。消えていいのかどうか。先の予定がどんどん遅れている。早くやれというわけではないが、年を越したらみんなの意見がその時に集約できるとは思わないが。だからいつまで経ってもまとまっていかないのではないかと思う。

委員長　暮れのうちにもう1回できるか。事務局、どうか。

事務局　17日の説明会后、すぐに開催した方がいいという意見だと思うが、年内開催はスケジュール的に厳しいと思うので、年明けでなるべく早いスケジュール調整を図るということでご理解いただきたい。

委員長　来年、年を明けたら早めにということで如何か。

委員　異議なし。

委員長　予定した件は以上で終わりだが、特に何かあるか。なければ、次回の地区説明会、なるべく都合をつけていただき、ご意見をいただきたいと思う。

事務局　次回の検討委員会の予定だが、17日の地域説明会の時にいつ頃がよいか、皆さんにご意見を伺いたいと思う。

5 閉会